

福島県がん教育推進事業がん教育研究推進校

実践研究のまとめ

<p>学校名</p>	<p>会津若松市立第一中学校</p>																																												
<p>研究テーマ</p>	<p>「みんなで実践、健康づくり大作戦」 学校、家庭、地域が一体となりがん教育を推進することで、積極的に健康づくりに努め、がん患者やその家族を思いやり、自身の生き方を見つめることのできる生徒を育成する。</p>																																												
<p>研究計画</p>	<p>< 1年次 ></p> <table border="1" data-bbox="411 678 1382 1361"> <thead> <tr> <th>実施時期</th> <th>対象</th> <th>内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令3. 6. 3</td> <td>県・市・事務所指導主事、本校推進委員</td> <td>研究推進の事前協議、実践計画についての協議と確認</td> </tr> <tr> <td>令3. 8. 25</td> <td>本校全教師</td> <td>植田教授による「学校におけるがん教育の考え方、進め方」についてリモート研修</td> </tr> <tr> <td>令3. 10. 1</td> <td>全校生徒</td> <td>「がん」についてのアンケートを実施</td> </tr> <tr> <td>令3. 10. 19</td> <td>支部中教研</td> <td>保健体育部会へ研究の概要と指導案・資料を提示し検討</td> </tr> <tr> <td>令3. 11. 11</td> <td>県内小中学校</td> <td>実践例として保健体育と道德の授業を公開し、植田教授から指導助言を頂く</td> </tr> <tr> <td>令3. 11. 29</td> <td>校内推進委員</td> <td>授業公開の反省と、今後の活動について協議</td> </tr> </tbody> </table> <p>< 2年次 ></p> <table border="1" data-bbox="411 1440 1382 1973"> <thead> <tr> <th>実施時期</th> <th>対象</th> <th>内容等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令4. 7. 20</td> <td>本校全教師</td> <td>がん教育についての校内研修</td> </tr> <tr> <td>令4. 7～8月</td> <td>全校生徒</td> <td>食習慣に関するアンケートを実施(2回)</td> </tr> <tr> <td>令4. 9. 6</td> <td>校内推進委員</td> <td>公開授業へ向けた役割分担等</td> </tr> <tr> <td>令4. 10. 5</td> <td>校内推進委員</td> <td>公開授業へ向けた指導案検討や確認</td> </tr> <tr> <td>令4. 11. 18</td> <td>県内小中学校</td> <td>実践例として保健と家庭の授業を公開し、協議会を実施</td> </tr> <tr> <td>令4. 11. 30</td> <td>校内推進委員</td> <td>授業公開の反省と、2年間の総括</td> </tr> </tbody> </table>			実施時期	対象	内容等	令3. 6. 3	県・市・事務所指導主事、本校推進委員	研究推進の事前協議、実践計画についての協議と確認	令3. 8. 25	本校全教師	植田教授による「学校におけるがん教育の考え方、進め方」についてリモート研修	令3. 10. 1	全校生徒	「がん」についてのアンケートを実施	令3. 10. 19	支部中教研	保健体育部会へ研究の概要と指導案・資料を提示し検討	令3. 11. 11	県内小中学校	実践例として保健体育と道德の授業を公開し、植田教授から指導助言を頂く	令3. 11. 29	校内推進委員	授業公開の反省と、今後の活動について協議	実施時期	対象	内容等	令4. 7. 20	本校全教師	がん教育についての校内研修	令4. 7～8月	全校生徒	食習慣に関するアンケートを実施(2回)	令4. 9. 6	校内推進委員	公開授業へ向けた役割分担等	令4. 10. 5	校内推進委員	公開授業へ向けた指導案検討や確認	令4. 11. 18	県内小中学校	実践例として保健と家庭の授業を公開し、協議会を実施	令4. 11. 30	校内推進委員	授業公開の反省と、2年間の総括
実施時期	対象	内容等																																											
令3. 6. 3	県・市・事務所指導主事、本校推進委員	研究推進の事前協議、実践計画についての協議と確認																																											
令3. 8. 25	本校全教師	植田教授による「学校におけるがん教育の考え方、進め方」についてリモート研修																																											
令3. 10. 1	全校生徒	「がん」についてのアンケートを実施																																											
令3. 10. 19	支部中教研	保健体育部会へ研究の概要と指導案・資料を提示し検討																																											
令3. 11. 11	県内小中学校	実践例として保健体育と道德の授業を公開し、植田教授から指導助言を頂く																																											
令3. 11. 29	校内推進委員	授業公開の反省と、今後の活動について協議																																											
実施時期	対象	内容等																																											
令4. 7. 20	本校全教師	がん教育についての校内研修																																											
令4. 7～8月	全校生徒	食習慣に関するアンケートを実施(2回)																																											
令4. 9. 6	校内推進委員	公開授業へ向けた役割分担等																																											
令4. 10. 5	校内推進委員	公開授業へ向けた指導案検討や確認																																											
令4. 11. 18	県内小中学校	実践例として保健と家庭の授業を公開し、協議会を実施																																											
令4. 11. 30	校内推進委員	授業公開の反省と、2年間の総括																																											

1年次

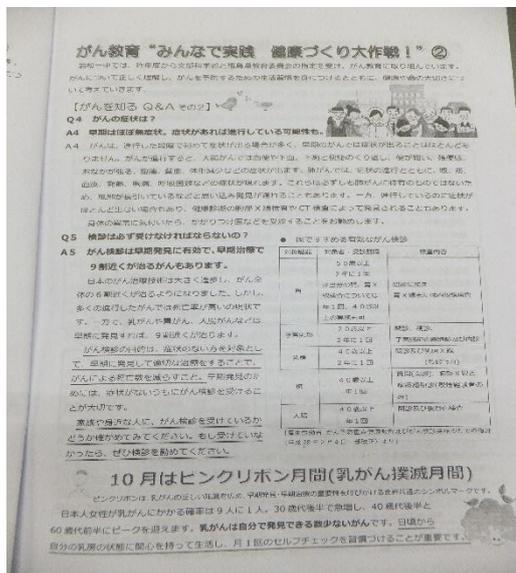
- ① 学校運営ビジョン、年間指導計画に「がん教育」との関連を位置づけ、幅広く「がん教育」との関連を図りながら、各教科や領域において授業を行い普及に努めた。
- ② 教師一人一人が、がん教育の必要性や方向性を理解するとともに、指導に必要な知識を身につけるために校内研修を行った。
- ③ 福島県がん教育推進協議会へ主幹教諭が参加し、他の推進校を視察して本校の実践に役立てた。
- ④ 地域へ普及するために、支部校長会、学校保健会、中学校教育研究会保健体育部会などに働きかけ、事業を周知するとともに、研究推進に協力を要請した。
- ⑤ 生徒や保護者に対して、本校のがん教育の取組を広報等で広く周知し理解と協力を求めた。
- ⑥ 公開授業として、保健体育科（2年）でがんという病気の理解を深める授業、道徳（3年）でがん患者とその家族の生活や心の様子について考える授業を行った。参加者の方々から高評価をいただき、実践してきた職員の自信となった。
- ⑦ がん教育に関するアンケート（校内）の実施（事前・事後）により生徒・教師・保護者の意識変容を確認した。



実践内容

2年次

- ① 学年ごとに学年全体で行う道徳の授業の中で、がん教育を進めた。
がんの治療法や患者の気持ち、接し方を考えさせるために YouTube や NHKの番組、(公財)日本対がん協会のDVDを視聴した。
- ② 授業内容の補完やがん教育への関心を高めるために、がんの知識や特徴、生活習慣などに関する掲示物を養護教諭や保健体育科教諭が文部科学省のHPを活用し、生徒向けの資料を掲示した。
- ③ 養護教諭が発行する「保健便り」にがんの知識や予防についての記事、がん検診の大切さやピンクリボン月間(乳がん撲滅月間)などを掲載し、全校生徒や保護者へ周知を図った。
- ④ 栄養教諭が栄養バランスの良い食事や郷土食についての講話を行った。同時に、生活習慣病の予防について触れることで、がん教育の充実に役立てようとした。
- ⑤ 本県や会津地区の現状を理解するため会津保健福祉事務所と会津若松市健康増進課の協力を得てがんに関する情報や資料を活用した。
- ⑥ 国立がん研究センターや国内最高峰の専門医療機関と包括的情報連携協定を締結している(株)第一生命の協力により、授業で活用できる貴重な資料や検診モデルなどの提供をいただいた。また、授業では、助言者として参加していただき、がん教育推進についてアドバイスをいただいた。



実践内容

実践内容

- ⑦ 公開授業として、2年生女子の保健体育科の授業と3年生の技術・家庭科（家庭分野）の授業を実施した。保健体育科の授業では、会津保健所保健技師の方からのお話を聞き、地域の生活習慣の特性などを知った上でがんの予防について考えさせた。家庭科では、栄養教諭とともに生活習慣病を予防する食生活について具体的に考えさせる授業を実施した。



成果と課題

<成果>

- ① 研究指定を受け、授業の中で様々な立場の専門家をゲストティーチャーとして迎えたことは、がん教育の必要性や重要性を知る上で教員・生徒にとってとても有効であった。
- ② がん教育に取り組むことは、命の大切さを学ぶ機会となり、疾病に関する知識を深め、生徒が将来にわたって健康を維持しようとする意欲を高めることにつながった。
- ③ 文部科学省や諸団体、企業で多くの教材や資料が開発提供されていることから、生徒の実態に応じて活用することができた。初めてがん教育に取り組む教員にとってはとても参考になった。



<課題>

- ① 子宮頸がんワクチンの接種などは、保護者の判断によるものなので、がん教育は、学校だけの実践ではなく、保護者との情報共有や共通理解が必要である。今後はさらに家庭への情報発信を積極的に行う必要がある。
- ② 事前のアンケートにより、生徒の家庭環境や心情面などを把握し指導に十分配慮する必要がある。そのため教科担任や保健主事、養護教諭、SCとの連携が不可欠である。